

ベトナム初の大学でのレッスンスタディ活動報告

ー教員の可能性を形にし、大学の未来を創るー

【ベトナム・ビンディン省】2025年8月10日 - 11日、ベトナムのクアンチュン大学（Quang Trung University 以下: QTU）にて、日本由来の教育手法である「レッスンスタディ」が実施されました。広島大学CICEセンター長である日下部達哉教授とQTUの教員が協力し合い、同大学の授業内容を見つめ直し、教員の可能性を形にすることで大学全体のレベル向上を目指したものです。この取り組みは、現地のウェブニュースにも掲載されました。詳細は以下の通りです。

ベトナムの大学で初の試みとなった今回のレッスンスタディは、地元メディア「[GIA LAI](#)」に掲載され、教育分野における重要性を広く伝えるきっかけとなりました。

初日10日に、哲学と英語の模擬授業が実施された後、参加した教員がお互いにフィードバックを交換する場が設けられました。2日目の11日には、教員42名のグループワークを通し、積極的な意見交換が行われました。日下部教授は「どの授業にも良い点と課題があり、教員自身が授業をどう改善していくかという意識をもつこと、そして楽しむことが最も大切」と述べ、教育の質の向上には教員の情熱はもちろん、常に改善の意識をもっていることが重要であることを強調しました。

出席した教員たちからは、「教員同士が互いに学び合う貴重な機会となり、教育キャリアを向上させるための良い手法だと思いました」「模擬授業を通して実状を目の当たりにし、教員同士のディスカッションによって未来への対策を練ることができました」などの意見を頂戴しています。

この取り組みは、ベトナムの大学教育におけるレッスンスタディ実践の第一歩となりました。QTU全体の価値向上とブランディング戦略に繋がるだけでなく、国際的な教育協力活動を通じて、ベトナム高等教育における付加価値を創造する基盤となることが期待されます。



*ウェブニュース「GIA LAI」リンク先

[Hợp tác quốc tế đưa Lesson Study vào giảng dạy tại Trường Đại học Quang Trung | Báo Gia Lai điện tử](#)